令和５年１２月１９日

令和５年度　自己評価報告書

多摩川の学び舎
世田谷区立二子玉川小学校
校　長　　今福　眞和

【アンケート調査実施概要】

対　象：保護者、児童、地域
実　施：令和５年 11 月１日～11 月 15 日
配布数：667 件（全学年児童保護者）　178 件（出席 5・6 年児童）　75 件（地域）
回答数：411 件（全学年児童保護者）　178 件（出席 5・6 年児童）　19 件（地域）
回答率：61%（全学年児童保護者）　100%（出席 5・6 年児童）　25%（地域）

１　学習指導について

児童

設問		肯定的評価	
		昨年度	今年度
1	先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	88.6	92.7
2	先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	83.0	86.5
3	授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	92.7	95.0
4	先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	85.6	91.5

保護者

1	本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	74.5	78.8
2	本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	61.2	67.9
3	本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	75.5	79.0
4	本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	67.3	75.0

児童ついては、おおむね９０％以上の肯定的評価を得た。昨年度から児童の主体的、探究的な学びに向けた授業について、教員の校内研究を行っている。課題に向けて友達と対話しながら探究していく授業を目指し、実践している。また今年度は、児童が主体的に学習に取り組むための手立てとして、「授業の始めに自己のめあてを立て、それに対する振り返りを授業の終わりにする活動」を全校の取り組みとして取り入れた。「先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。」「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。」について肯定的評価が増えたのは、コロナ後の児童同士の交流活動を再開したことと校内研究の取組の成果であると考えられる。

また、GIGA スクール構想により、児童に一人一台のタブレットが配布され、本校では、世田谷区から任命された ICT インフルエンサー教員を中心とした ICT を利活用した授業の推進も行ってきた。「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。」の肯定的評価が高いのはその成果だと考えられる。一方で、ICT に頼り過ぎ、黒板の書き方やプリントの工夫になかなか気が向いていないところがある。「本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。」の肯定的評価

が他の項目に比べて低い理由と考えられる。主体的、探究的な学習の手掛かりになる、分かりやすい板書やプリントの工夫についても、校内研究の観点に取り入れていきたい。

２　生活指導について

児童

1	私は、学校のきまりを守って、行動している。	85.1	79.2
2	学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	87.6	89.3
3	先生に注意されたことは、理解できる。	88.2	92.1

保護者

1	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	74.2	74.2
2	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	78.4	84.7

地域

1	通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	89.4	86.3

児童の「私は、学校のきまりを守って、行動している。」の肯定的評価が昨年度より下がっている。一方で「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。」「先生に注意されたことは、理解できる。」の肯定的評価の割合が高い。児童が自己の振舞いを謙虚に振り返り、先生からの指導に納得していると考えられる。引き続き、本校の全教職員が、週に1回の生活指導夕会等で、児童の実態と指導の方向性を共通理解し、丁寧な指導を繰り返し行い、児童の意識と行動に働きかけていく。また、学校の児童の様子や教員がどのような生活指導を行っているかを、学校だよりや学校運営委員会等で積極的に発信し、「学校、保護者、地域が共に子どもを育てていく」という意識を高めたい。

３　学校行事(運動会・学芸会・宿泊行事など)について

児童

1	学校行事は楽しい。	84.1	85.4
2	学校行事は達成感がある。	77.8	71.9
3	先生は、児童の意欲を大切にしている。	79.9	83.1

保護者

1	学校行事は、子どもにとって楽しい。	91.9	95.4
2	学校行事は、子どもにとって達成感がある。	91.8	94.6
3	本校は、子どもの意欲を大切にしている。	79.1	87.1

地域

1	学校行事の内容は充実している。	74.8	95.5
2	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	84.2	86.4

児童、保護者、地域、共に高評価である。しかし、児童の「学校行事は達成感がある。」という項目については肯定的評価が71.9%と下がっている。児童が意欲や達成感を持つことができる

よう自己や集団の目標をしっかりと持たせることを意識していく。

４　キャリア教育について

児童

1	自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	71.7	65.8
2	目標をもち、その実現に向けて努力している。	74.7	73.1
3	区立中学校に関する情報が提供されている。	60.8	60.7

保護者

1	本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	57.2	57.4
2	本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	39.2	45.0

今年度も保護者の「わからない」という評価が 22.1%、29.2%と高い。「あまり思わない」「思わない」という否定的評価も 20.4%、25.8%である。引き続き、キャリア教育への意識を高めた教育活動の実施に向けて、教員の指導力を高め、保護者、地域への分かりやすい説明をしていく努力が必要である。今年度はコロナ禍で行えなかった学び舎中学校との交流を増やしてきたが、児童の肯定的評価にその成果は表れていない。キャリア教育の視点での学び舎中学校との交流をさらに充実させていく。

５　教職員について

児童

1	先生たちは、ていねいに指導してくれる。	89.2	89.8
2	先生たちに相談できる。	73.7	78.6

保護者

1	本校は、丁寧に指導している。	80.1	86.9
2	本校は、子どものことを相談しやすい。	76.5	76.9

昨年度に引き続き、児童、保護者ともに高評価である。しかし、相談のしやすさについては、依然として肯定的評価の割合が児童、保護者共に７０％台である。児童や保護者の立場に寄り添い受け止めながら、信頼関係を高める努力を続け、児童や保護者が相談しやすい体制をつくっていく。

６　学校全般について

児童

1	学校生活は楽しい。	87.7	85.4
2	学校が好き。	77.4	75.8
3	私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	69.6	60.1
4	私は、塾で学習している	70.6	69.7
5	学び舎の中学に行ったり中学生が来たりする機会がある。	62.6	71.9

保護者

1	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	88.9	89.2
2	子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	62.8	62.7

3	本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	41.2	69.8
4	本校の教育活動に満足している。	76.8	81.3
5	子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	71.6	74.0

学校生活の楽しさについては、児童、保護者ともに高評価である。しかし、児童の「学校が好き。」という項目は肯定的評価が依然として 70%台である。児童にとって学校が安心して楽しく過ごせる居場所となるように引き続き考えていく。

自主的な家庭学習については依然 60%台であるため、保護者と共に主体的な家庭学習の習慣について考え取り組んでいく必要がある。

「学び舎」の交流活動に関しては、肯定的評価の割合が 28.6%も増えた。運動会での中学生ボランティアの活躍や学校だよりでの周知してきた成果と考えられる。引き続き取り組んでいく。

健康、体力向上の取り組みについては依然 70%台である。今年度から始めた、全校縄跳び大会等の取り組みが成果となっていくよう、引き続き活動の工夫をしていく。

本校の教育活動への満足度に対する肯定的評価が、昨年度の 70%台から 80%台となった。しかし、否定的評価が 13.1%、「わからない」という評価が 5.6%あることを心にとめ、教育活動のさらなる工夫と改善に努めていく。

7　学校からの情報提供について

保護者

1	本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	85.3	92.0
2	「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	46.8	58.8
3	本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	81.4	92.7
4	本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	78.1	82.0

地域

1	学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	94.7	95.4
2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	68.4	68.2
3	学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	68.4	90.9
4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	89.5	77.3

今年度は保護者、地域への学校公開を再開したことから、「児童の様子が分かる」という肯定的評価が保護者、地域共に高くなった。ホームページ充実のための学校体制は、昨年度に比べると整ってきたものの、まだ十分とはいえないため、引き続き体制を整えていく。「学び舎」に関する情報が、依然として保護者や地域に十分に届いていない。学校だよりやホームページを活用し、情報発信の方法を改善工夫していく。

８　学校運営について

保護者

1	本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	71.3	81.3
2	校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	84.3	90.2

地域

1	学校の重点目標が明確である。	94.7	77.3
2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	89.4	86.4

学校運営について、保護者の肯定的評価の割合は、昨年度より高くなった。一方で、地域の肯定的評価の割合は 70%台となった。学校だより等を活用し、保護者にも地域の方にも分かりやすく、伝えていく工夫を考えていく。

９　学校と家庭の連携について

保護者

1	私は、学校公開にすすんで参加している。	90.5	88.1
2	私は、学校行事、ＰＴＡや地域主催の行事などにすすんで協力している。	67.3	55.2
3	私は、今年度の学校重点目標を理解している。	46.8	49.7

学校公開には保護者が積極的に参加してくださっていることが分かる。「私は、学校行事や PTA 行事にすすんで協力している。」という項目は肯定的回答が 55.1%となり、否定的な回答の割合が 42.6%となった。また、学校の重点目標への理解も依然として 50%を切っている。学校の経営方針や取組みを積極的に情報発信し、学校への協力や理解を寄せていただけるよう努めていく。

１０　地域との連携について

保護者

1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	81.1	86.4
2	本校は、地域の活動などに協力的である。	83.6	90.5
3	本校は、地域に情報を提供している。	67.3	71.1

地域

1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	84.3	86.4
2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	73.7	63.7
3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	94.7	81.8

今年度もおおむね高評価である。地域と連携した教育活動に関する情報発信の成果が表れていると思われる。コロナ禍をきっかけに学校協議会が実施できていないため、今後の在り方を検討していく。

１１　学校の安全性について

保護者

1	本校は、安全な学校づくりを進めている。	82.0	83.3
2	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	87.9	93.7
3	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	70.3	75.9

地域

1	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	100	95.4
2	学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	94.8	100

保護者、地域、共に高評価であった。しかし、自然災害時の対応については、肯定的回答が依然70%台、「わからない」という回答 20.4%と十分に浸透していない。引き続き、周知の方法を検討工夫し、安全な学校づくりの推進を継続していく。

１２　学校経営方針について

児童

1	二子玉川小学校が「笑顔と元気とやさしさあふれる学校」をめざしていることを知っている。	87.6	85.4

保護者

1	本校の学校経営目標「笑顔と元気と優しさあふれる学校」を知っている。	65.1	77.1

地域

1	本校の学校経営目標「笑顔と元気とやさしさあふれる学校」を知っている。	100	96.4

学校経営方針についての肯定的評価の割合が、児童、保護者、地域ともに高くなってきた。引き続き、保護者、地域に分かりやすく説明を行っていくとととともに、児童、保護者、地域の声に積極的に耳を傾け、共感を大切にして、対応や支援を行っていく。

１３　学校生活の充実について

児童

1	あいさつや返事をすることを意識している。		87.7
2	「二子玉川小学校４つの約束（人に親切にする・うそはつかない・約束を守る・勉強をがんばる）」を意識して生活をしている。		74.7

保護者

1	本校の子どもたちは、あいさつや返事をすることを意識している。	77.1	78.6
2	子どもたちは「二子玉川小学校４つの約束（人に親切にする・うそはつかない・約束を守る・勉強をがんばる）」を意識して生活をしている。	67.0	66.2

地域

1	本校の子どもたちは、あいさつや返事をすることを意識している。	89.5	81.9
2	子どもたちは「二子玉川小学校４つの約束（人に親切にする・うそはつかない・約束を守る・勉強をがんばる）」を意識して生活をしている。	69.9	72.7

今年度より児童への質問も取り入れた。「あいさつや返事をすることを意識している。」については今年も高評価である。一方で、「４つの約束」に関する肯定的評価は、児童、保護者、地域ともに 60～70%台であった。特に保護者は、依然として否定的評価が 23.3%であった。引き続き子どもたちへのていねいな指導を実践し、子どもたちの姿の変容につなげていくよう努める。

１４　地域運営学校の取り組みについて

保護者

1	本校は、地域運営学校として、地域・保護者・地元企業などの学校協力者等とのつながりを大切にし、みんなで「地域の子」を育てている。	72.5	80.3
2	本校は、「クリーンタウン作戦」「かるがもプロジェクト」「あいさつ運動」など、地域の方や保護者、地域の中学校、高校、大学、地元企業などと連携しながら教育活動を行っている。	83.4	91.0

地域

1	本校は、地域運営学校として、地域・保護者・地元企業などの学校協力者等とのつながりを大切にし、みんなで「地域の子」を育てている。	89.7	90.9
2	本校は、「クリーンタウン作戦」「かるがもプロジェクト」「あいさつ運動」など、地域の方や保護者、地域の中学校、高校、大学、地元企業などと連携しながら教育活動を行っている。	94.4	90.9

全体的に高評価であるが、依然「分からない」という保護者の評価の割合が 10%、否定的評価が約10%である。地域運営学校についての取組についてより分かりやすい情報提供に努めていく。

１５　特色ある教育活動について

保護者

1	本校は、「愛鳥活動」や「水辺の楽校」等の地域の特色を生かした学習（生活科、社会科、総合的な学習の時間等）を展開している。	89.6	93.7
2	本校の特色ある教育活動は、「地域を愛する心」「他者を思いやる心」など、子どもたちの豊かな心の育成やウェルビーイングの向上を目指している。	76.2	69.4

地域

1	本校は、「愛鳥活動」や「水辺の楽校」等の地域の特色を生かした学習（生活科、社会科、総合的な学習の時間等）を展開している。	100	90.9
2	本校の特色ある教育活動は、「地域を愛する心」「他者を思いやる心」など、子どもたちの豊かな心の育成やウェルビーイングの向上を目指している。	100	90.9

保護者、地域ともに高い評価を得ている。しかし、「本校の特色ある教育活動は、「地域を愛する心」「他者を思いやる心」など、子どもたちの豊かな心の育成やウェルビーイングの向上を目指している。」の項目については、今年度、質問の仕方を変更したが、保護者の肯定的評価が 60%台となってしまった。本校の教育活動の特色について、より具体的に分かりやすく説明をし、理解をしていただけるように努めていく。

【総括】

昨年度より、アンケート調査が電子化され、昨年度は保護者の回答率が 46%と半数以下であった。今年度はリマインドメールで回答を呼び掛けたことにより、保護者の回答率は 61%まで上がった。また、アンケート調査の電子化により、今年度は地域へのアンケート調査配布を昨年度の約２倍の７５件に増やしたが、回答数は１９件と昨年度並みであった。

アンケート調査結果については、今年度も全体的に肯定的な評価をいただいた。特に探究的な学びに関する項目の肯定的評価の割合が高く表れたことは、昨年度からの本校の校内研究の成果であると考えられる。一方で、学校経営の重点目標やキャリア教育に関する項目については、依然として「わからない」という回答が目立つ。「二子玉川小学校４つの約束」や本校の特色ある教育活動に関する肯定的評価の割合も高いとは言えない。

学び舎幼保中学校との連携や情報提供については、昨年度までと比較すると、肯定的評価の割合は増えているが、まだまだ改善への工夫が必要である。また、家庭学習や PTA 活動などの「学校と家庭との連携」については、肯定的な評価の割合が高いとは言えず、学校の教育活動に関心をもってもらえるような取組と情報発信が必要である。加えて、これからの時代に合った持続可能な「学校と家庭との連携方法」を考えていく必要もある。

本校の教育活動を保護者や地域の方々によく理解していただけるよう、学校経営方針や取組を分かりやすく伝えていく工夫を引き続き考えていく。また、今回のアンケート結果で肯定的評価が低かった「授業での板書やプリントの工夫等」を含め、さらなる教員の授業力向上をめざしていく。「二子玉川小学校４つの約束」を全校で具体的に取組み、子どもたちの規範意識と非認知能力を高めるとともに、幼保中との連携を充実させながら、キャリア教育をさらに推進していく。